

第 6 1 期第 4 回四役会議議事録

1. 日時 令和 3 年 7 月 3 0 日（金） 0 9 時 0 0 分～ 1 7 時 0 0 分

2. 場所 中央書記局

3. 出席者

奥平中央執行委員長、浅野副中央執行委員長、原川副中央執行委員長、倉本副中央執行委員長、鈴木書記長

4. 議題

○中央執行委員長挨拶

現在、人事院勧告に対する交渉中であり、本年にあっては昨年のような大幅な遅れは無く、例年通りの勧告となる見込み、また法案が通過した「国家公務員の定年延長」について、今後は具体的方針等について進められる事が予想され、上部団体をとおして取り組んでいくこととなるが、共有できる情報があれば、遅滞なく共有したいと思う。

（１）第 62 回定期大会について（開催スケジュール等）

現在のところ、第 60 回（一昨年）と同様に集合形式による開催方向で検討しているものの、今後の社会状況（コロナウイルス感染症の拡大）の変化により、開催方法を変更しなければならないため検討を行うこととしたい。なお、書記局からは、以下のスケジュールで提案した。

書記局案）

9 月 17 日（金）	9:00～10:00	第 61 期最終回中央執行委員会
	10:00～15:00	第 62 回定期大会（昼食を含む、来賓・レセプションは無し）
	15:00～17:00	第 62 期第 1 回中央執行委員会
9 月 18 日（土）	9:00～12:00	〃

上記スケジュール提案について

→定期大会は、税関労組として年間を通じて最も大事なものであり、今期の総括及び来期における運動方針の確約など、基本としては集合形式による開催が望ましいと考える。

→今日現在（7 月 30 日）の感染者数を考慮すると、昨年同様にWEBによる開催も検討したいが、書記局提案の約 1 日半のスケジュールであれば、開催は可能と考える。

→ホテル側も感染対策を講じているため、そのガイドラインに基づけば問題無いとも考える。

→最終的な判断は地区本部に任せる（委任状など）が、今、現在にあっては集合形式であっても短い時間であれば、問題無いと考える。

等などの意見があり、最終的には、書記局提案のスケジュールにて、次回拡大中央執行委員会（Web 若しくは持ち回りにより 8 月末を予定）により最終確認をすることとなりました。

続けて、

- ・ 第 61 期活動経過報告交渉内容
- ・ 第 62 期運動方針（案）
- ・ 大会各種決議（案）
- ・ 第 62 期予算（案）
- ・ 第 62 期具体的取組について（案）

について、書記局提案を基に加筆等修正し、承認いただきました。添付致しますのでご確認いただき
ご意見等があれば、8 月 10 日（火）までに中央書記局まで返信願います。

（2）その他

1. 第 62 期中央執行委員については、日本税関労働組合同規約第 34 条に

- 1) 中央執行委員長 1 名
- 2) 副中央執行委員長 若干名
- 3) 書記長 1 名
- 4) 書記次長 1 名
- 5) 中央執行委員 若干名
- 6) 会計監査 2 名

と規定されております。定期大会において予定している役員改選では、若干名とされている副中央
執行委員長・中央執行委員の定員（案）については、以下のとおり確認し、次回拡大中央執行委員会
（Web 若しくは持ち回りにより 8 月末を予定）により最終確認をすることとなりました。

第 62 期体制（案）

函館	1 名
東京	2 名（1 名副中央執行委員長）
横浜	2 名（1 名副中央執行委員長、1 名次期専従者）
名古屋	1 名（副中央執行委員長）
大阪	1 名
神戸	1 名
門司	1 名
長崎	1 名
沖縄	2 名（1 名青年委員長）
女性	2 名（東京）
海事	1 名（函館）
行二	1 名（東京）
会計監査	2 名（東京・横浜）
中央	3 名（神戸・東京・門司）
計	21 名（うち副中央執行委員長 3 名、中央執行委員 13 名）

2. 第 63 期以降の専従予定者については、別添 8「専従役員の割り振り・ローテーション」と
なっておりますので、各地区本部確認いただき、準備方宜しくお願い致します。